

秘

第一四號

定決裁

四月十七日

送發

四月十七日

昭和十五年四月十七日起案

學校長



庶務主任



附件名

周長英教師傭入契約締結之件開中

業

年 月 日

校

長

文部大臣宛

備外國人教師備入契約締結ニ付用申

中華民國人 周 長 英

右者經伺、上備外國人教師トシテ本年四月一日ヨリ
滿三年間備入契約締結致候間契約書寫
相添、此段及用申候也

案、二

文部大臣官房會計課長宛

右者經伺、上備外國人教師トシテ本年四月一日ヨリ
滿三年間備入契約締結致候間契約書寫
貳通及提出候也

契 約 書

小樽高等商業學校校長苦米地英俊（以下甲ト稱ス）ト周長英（以下乙ト稱ス）ハ合意ノ上、下記條項ニ從ヒ契約ヲ締結ス

第一條 本契約ニ依リテ乙ハ小樽高等商業學校ニ於テ支那語ノ教師トシテ傭聘セラル、其ノ期間ハ昭和十五年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日ニ至ル

第二條 乙ハ一ヶ月分手當貳百圓ヲ受ク、此ノ金額ハ毎月末之ヲ支給ス、契約ノ開始並ニ終了ニ際シ勤務一ヶ月ニ滿タザル場合ニハ實際勤務ノ日數ニ應ジテ手當金ヲ受クルモノトス

第三條 授業時間數、時間割、授業方針及其ノ他總テ學校ニ關スル事項ニ就テハ甲ノ指揮ニ從フベシ但シ一週二十四時

小樽高等商業學校

間以上ノ授業ヲ命ゼラレ若クハ日曜日ノ授業勤務ヲ命ゼラルルコトナシ

第四條 乙ハ委囑ヲ受ケタル學事又ハ其ノ他總テ本校ニ關スル業務ニツキ意見ヲ披陳スルコトヲ得、但シ其ノ決定ヲ爲ス權ハ常ニ甲之ヲ有ス

第五條 乙ハ本校ノ規則ヲ遵守ス右規則ニ違反シ又ハ本契約ニ違反シタル場合ハ甲ニ於テ本契約ヲ解約スルコトヲ得

第六條 乙ガ病氣ノ爲又ハ其ノ他已ムヲ得ザル事情ニ由リ引續キ三十日以上勤務ヲ爲ス能ハザル場合ニハ其ノ期間終了後病氣又ハ其ノ他ノ事情ノ繼續スル間ハ第三條所定手當額ノ二分ノ一ノミヲ受ク、若シ同一原因ノ爲更ニ六十日間ノ後ニ至ルモ猶勤務ヲ爲ス能ハザルトキハ甲ハ本契約

ヲ解除スル權利ヲ有ス

第七條 本契約ノ各當事者ハ第一條ニ定メタル契約期間中何時ニテモ任意ニ本契約ヲ解除スルコトヲ得、但シ其ノ解約ノ意思アルコトヲ三ヶ月前ニ相手方ニ通告スルヲ要ス

第八條 甲ノ意思ニテ前條ニヨリ解約シタル場合ハ乙ハ解約ノ日ノ翌日ヨリ起算シテ三ヶ月分ノ手當ニ相當スル金額ヲ受クルモノトス但シ契約満期日ヨリ三ヶ月以内ニ於テ解約シタルトキハ契約満期日ニ至ル迄ノ手當額ニ相當スル金額ノミヲ受クルモノトス乙ノ意思ニ依リテ解約ヲ爲ス場合ニ於テハ第三條ノ規定ニ依リ解約當日迄ノ手當支給ノ外一切請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條 本契約ノ條項ヲ履行シ其ノ期間滿了シタル後本契約ヲ

小樽高等商業學校

更新セズ若クハ第六條又ハ第八條ノ規定ニ依リ甲ノ意思ニテ解約ヲ爲シ乙ガ相當ノ期間内ニ歸國スル場合ハ、乙ハ歸國旅費トシテ金五百圓ヲ受クルモノトス、妻ヲ同伴シテ歸國スル場合ハ更ニ金貳百五十圓以内ノ歸國旅費ヲ受クルコトアルベシ

第十條 本契約満期ノ際甲ガ本契約ノ更新ヲ欲スルトキハ本契約期間滿了前六十日以前ニ其ノ旨ヲ乙ニ通告スルモノトス

以上契約締結ノ證トシテ契約書二通ヲ作り當事者双方ハ昭和十五年三月三十一日日本小樽ニ於テ署名シ各一通ヲ保管スルモノナリ

周長榮
岩本比菜留